



学校教育目標 **かしこく やさしく たくましく 未来を拓く 北部の子**
～ワクワク勉強 ニコニコ生活 モリモリ元気～「笑顔」いっぱい北部っ子

令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析

6年生が1学期に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果を分析しましたのでお知らせします。分析結果を今後の授業改善に役立てていきます。ご家庭でも参考にしてください。

【調査の内容】

国語 算数 理科 質問紙調査

【調査の結果】

全国平均を100とした標準化得点で比べると、国語、算数、理科ともに全国をやや下回る結果であった。

【結果の分析】

どの教科も、長い文章の問題、複数の資料を使った問題、文章で解答を記述する問題の正答率が低い傾向であった。

国語

- 文章に図表を添える工夫のよさを理解している。
- 言葉の使い方や特徴、我が国の言語文化に関する基礎的な知識・技能は定着している。
- ▲文章や図表を結びつけて読むことに課題がある。
- ▲目的や意図に応じて文章を書くことに課題がある。
- ▲複数の情報から目的に合わせた内容を選別することや、条件に合わせて文章をまとめていくことが苦手である。

<今後の学習のポイント>

- ・資料に記された段落のまとまりや、見出しの意味・効果を意識できるようにする。
- ・多数の情報を目的や意図に応じて分類したり、関連付けたりする方法の一つとして様々な思考ツールがあることを知る。
- ・段落分けや、見出し付けて内容のまとまりを問う活動を意識していく。
- ・「書くこと」「要約すること」については、教科等横断的に自分の考えを簡潔に表現する機会を設けるなど引き続き取り組む。

算数

- 角の大きさについて理解している。
- 棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる。
- 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができる。
- ▲題意を理解し、全ての条件を満たした文章を書くこと（正答の条件、字数制限など）。
- ▲問題で聞かれていることと、グラフを関連付けて見ることに課題がある。複数の情報からの読み取りに困難さがある。
- ▲「分数」に関する苦手意識が強い。「単位と個数」の関係を「整数」から「分数」に派生させて考えることに課題がある。

<今後の学習のポイント>

- ・各学年で扱う「単位と個数」の見方を扱う際に、必ず「整数」の見方に帰着できるようにする。
- ・算数で学んだデータの読み取り方を教科横断的に捉え、複数の統計データを関連付けて読み取る活動を行っていく機会を設ける。

理科

- 温度による水の状態の変化について理解している。
- 問題を解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現することができる。
- ▲実験の条件を制御した解決の方法を発想することに課題が見られる。
- ▲授業で扱ったことのない植物の成長に関して抵抗感が見られた。
- ▲算数同様、実験結果などを踏まえて自分の考えを記述する際、問題の条件を踏まえて書くことに苦手意識がある。

質問紙調査

<肯定的な回答の割合が高い項目>

- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。」
- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか。」
- ・「友達関係に満足していますか。」
- ・「普段の生活の中で、幸せな気持ちなることはどれくらいありますか。」

全校的にみて、素直で前向きな児童が多く、男女分け隔てなく接することができている。各行事活動において、目標を立て、目標達成のためにどのように活動していくことが望ましいのかを全体で考えて行動し、振り返りの機会を持つことで達成感を得ている子どもたちが多いためと考える。ただ、一定の割合で否定的な思いを持つ子どももいることも踏まえ、皆で高め合える肯定的な人間関係を今後も構築していきたい。

<否定的な回答の割合が高い項目>

- ・「自分には、よいところがあると思いますか。」
- ・「5年生までに受けた授業でPC・タブレット等のICT機器をどの程度使用しましたか。」

自己肯定感の低さはここ数年の本校の課題である。結果だけでなく、その結果に至るまでの取組の過程を大事にし、全体で共有しながらよりよい学校や学級の雰囲気作りに努める。

ICT機器の活用に関しては、個人差が大きい。授業内や家庭学習等で活用する機会をできるだけ設けていく。しかし、使用する上での情報モラルにも課題があるため、使用する目的や意図をしっかりと理解した上で、活用できる力を養いたい。

本校では「かしこく やさしく たくましく 未来を拓く 北部の子」を学校教育目標に掲げ、授業改善や子どもたちの規範意識・自己有用感を高める支援、教職員の資質能力の向上などに努めています。学校教育活動は教職員だけでなく、家庭や地域との連携・協働なしでは成り立ちません。今回の調査結果を今後の学校経営に反映させ、「地域とともに歩む学校づくり」を一層進めてまいります。

今後ご協力よろしく申し上げます。